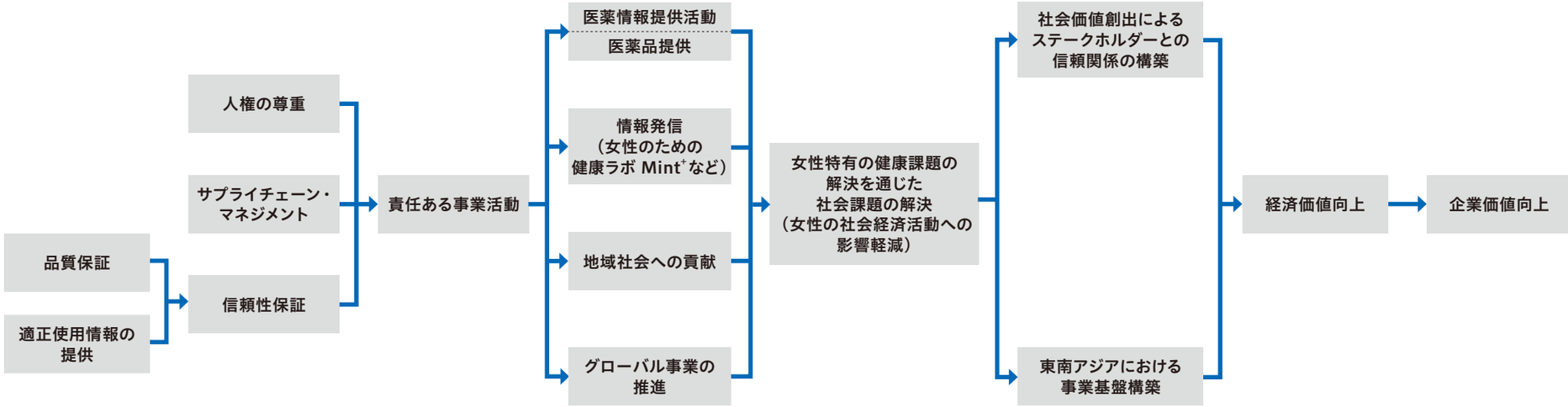
社会関係資本戦略

資本の概要・強化の方向性

あすか製薬ホールディングスグループは「いのち」にかかわる企業として、ステークホルダーとの信頼関係を基盤とした社会関係資本の強化を重視しています。信頼性保証体制のもと、高品質で安全な医薬品の安定供給と適正使用情報の提供を徹底するとともに、医薬情報提供活動や健康情報発信を通じて、患者や医療関係者との信頼関係の構築に努めています。

また、サプライチェーン・マネジメントの強化により持続可能で安定した供給体制を確立するとともに、人権の尊重をはじめとする社会的責任を重視した事業運営を推進しています。

さらに、女性の健康支援や次世代育成、地域社会との協働などを通じて社会との関係性を深化させることで、社会課題の解決に貢献しています。これらの取り組みを通じて、社会からの信頼を持続的に高めるとともに、事業基盤の強化と中長期的な企業価値の向上につなげていきます。



イントロダクション
価値創造ストーリー
戦略解説
28 投資家の皆さまから寄せられる質問
29 専務取締役メッセージ
33 中期経営計画2025の振り返り
35 会長メッセージ
36 中期経営計画2028概要
38 事業概況
38 国内医療用医薬品
41 創薬
43 グローバル
45 アニマルヘルス
47 検査・アラウンドピル
49 財務資本戦略
53 製造資本・知的資本戦略
57 自然資本戦略
61 社会関係資本戦略
65 人的資本戦略
71 従業員座談会
価値創造の基盤
コーポレートデータ

信頼性保証の取り組み

信頼性保証
https://www.aska-pharma.co.jp/company/business/other_activities.html

■ 基本的な考え方

信頼性保証本部は、薬機法*1、GQP*2およびGVP*3の法律や省令を遵守し、当社医薬品の品質および安全性を確保する、安定供給を支える責務を担っています。医療関係者や患者さんに当社の医薬品を安心してお使いいただけるよう、高い倫理観と使命感を持って業務を遂行しており、当社の医薬品が正しく製造され、医療に貢献できる適正使用情報を提供することを基本方針としています。

*1 医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律
*2 GQP：医薬品、医薬部外品、化粧品及び再生医療等製品の品質管理の基準
*3 GVP：医薬品等の製造販売後安全管理の基準



あすか製薬株式会社
取締役常務執行役員
信頼性保証本部長
森 麻衣子

■ 2025年度の取り組み（信頼性保証）

生成AIが飛躍的な進歩を遂げる今、医薬品の品質や安全性を確保する手法も大きく変化しつつあります。膨大な情報を客観的かつ正確に分析するのは生成AIの得意分野です。一方で、製造現場や医療現場の実態を踏まえ、多くの選択肢からさまざまなステークホルダーや会社に有益な対策を立案・実行するには、やはり人の力が必須です。

信頼性保証本部では、AIによる副作用分析の可能性を探り、品質保証業務へのRPA 導入、ウェブ環境で完結できるくすり相談などに取り組んでいます。専門分野の知識・スキルアップに加え、IT技能やリテラシーを向上させ、AIを活用した業務への積極的な転換を推進するとともに、今後も、人とAI が共存し、より迅速に、より的確に、当社医薬品の品質および安全性・有効性を確保すべくさまざまな取り組みを行ってまいります。

医薬情報提供活動

医薬情報提供活動
https://www.aska-pharma.co.jp/company/business/pharmaceutical_information.html

■ 基本的な考え方

あすか製薬は産婦人科領域ではNo.1のポジションです。あすか製薬のMRは「女性の健康とワークライフバランス」の向上のために、「レルミナ」や「スリンダ」などの産婦人科製品の情報提供活動に高い誇りと意欲を持って取り組んでいます。また「リフキシマ」を通じた肝性脳症の診断・治療の重要性の普及もあすか製薬のMRだからこそできる唯一無二の啓発活動です。MRは、これらの付加価値の高いあすか製薬の医薬品情報を医師や医療従事者にタイムリーかつ効果的に届けることで患者さんとその家族のQOL（Quality of Life：生活の質）の向上に貢献します。



あすか製薬株式会社
取締役常務執行役員
医薬事業統括
海堀 寛

■ 2025年度の取り組み（医薬情報提供活動）

2025年度は中期経営計画2025の最終年度であり、全社の数値目標の大半を担う営業本部として集大成の1年でした。市場環境は厳しくなるなかで、一貫して人材育成や組織力強化、戦略フレームワークの実践に注力し産婦人科を中心としたスペシャリティ領域を大きく成長させることで販売計画12期連続達成、中期経営計画目標達成という金字塔を打ち立てることができました。また、新中期経営計画での一層の飛躍のためにAI駆動による営業活動の高付加価値化への取り組みもスタートさせました。

地域社会に向けた取り組み

社会貢献活動（コミュニティ参画・発展）
https://www.aska-pharma-hd.co.jp/csr/social/community_involvement.html

■ 基本的な考え方

当社グループは、事業活動を通じた社会課題の解決と持続的な成長の実現を目指し、地域社会との共生を重要な経営基盤の一つと位置づけています。

女性医療を強みとする事業特性を活かした健康支援や次世代育成への取り組みに加え、地域との交流、防災活動、環境保全活動、社会貢献活動などを通じた、地域社会の持続的な発展に貢献しています。

これらの活動は、社会課題の解決やステークホルダーとの信頼関係の構築につながるとともに、中長期的な企業価値の向上に寄与するものと考えています。



無償で提供している
保健体育副教材

■ 事業を通じた健康・教育への貢献

当社グループは、女性の健康課題に関する正しい知識の普及とヘルスリテラシー向上に取り組んでいます。

女性向け健康情報サイト「女性のための健康ラボ Mint+」では、女性のライフステージに応じたホルモン変化や体調変化、疾患に関する情報を発信しています。2026年5月には「湘南アイパークフェスタ2026」に出展し、地域の皆さまに同サイトの取り組みを紹介しました。

また、思春期から妊娠・出産、乳幼児期まで幅広い世代に向けた健康情報をオウンドメディアで発信し、健康教育を通じた次世代育成に取り組んでいます。

さらに、高校生の健康教育を支援するため、保健体育副教材を毎年、希望する高等学校へ無償で提供しています。こうした活動を通じて、若い世代の健康意識向上と、将来にわたる健康づくりへの貢献を目指しています。





「湘南アイパークフェスタ2026」出展の様子

イントロダクション
価値創造ストーリー
戦略解説
28 投資家の皆さまから寄せられる質問
29 専務取締役メッセージ
33 中期経営計画2025の振り返り
35 会長メッセージ
36 中期経営計画2028概要
38 事業概況
38 国内医療用医薬品
41 創薬
43 グローバル
45 アニマルヘルス
47 検査・アラウンドピル
49 財務資本戦略
53 製造資本・知的資本戦略
57 自然資本戦略
61 社会関係資本戦略
65 人的資本戦略
71 従業員座談会
価値創造の基盤
コーポレートデータ

■ 地域との共生と活性化

当社グループは、事業所周辺地域との共生を重視し、地域との交流や活性化に向けた活動を推進しています。

東京都港区では、地域イベントへの協力やNPO法人への支援などを通じて、地域との信頼関係の構築に努めています。また、福島県いわき市では「いわきおどり」への参加をはじめとする地域活動への参画を通じて、地域文化の継承と活性化に貢献しています。

さらに、地域スポーツ振興の一環として「いわきFC」を支援するとともに、現地雇用や地域調達を推進し、地域経済の活性化にも取り組んでいます。



港区芝浦二丁目町会の納涼盆踊り大会での様子

■ 地域の安全・安心への貢献

当社グループは、地域社会の安全・安心の向上に向けた防災活動にも積極的に取り組んでいます。

港区防災連絡会への参画や、BCP（事業継続計画）の整備・見直しを継続しています。また、避難訓練やAED操作講習を定期的に実施し、災害時の対応力向上を図っています。

本社では自衛消防隊を組織し、月2回の定期活動を実施しています。平時から防災意識の醸成や初動対応能力の向上に取り組むことで、従業員の安全確保はもとより、地域社会の防災力向上にも貢献しています。


いわきおどり2026の様子


自衛消防隊の活動の様子

■ 環境保全への取り組み

2008年に従業員有志により発足したボランティアサークル「マーガレット」は、東京・港区を中心に地域に根差した活動を継続しています。

本社周辺での春季・秋季の清掃活動や、港区内のNPO法人への支援活動として牛乳パックの収集・寄付を行うなど、地域環境の保全と社会貢献に取り組んでいます。これらの活動は、2016年に東京ボランティア・市民活動センター主催の「第1回企業ボランティア・アワード」を受賞するなど、外部からも高く評価されています。

また、環境保全活動の一環として、NGO団体の活動に賛同し、従業員有志による植林・育林活動を実施しています。森林の保全や生物多様性の維持に貢献するとともに、従業員の環境意識の向上にもつながっています。



植林・育林活動の様子


清掃活動ボランティアの様子

■ 社会包摂と人道支援への貢献

当社グループは、誰もが安心して暮らし、活躍できる社会の実現に向けた支援活動にも取り組んでいます。

子どもたちの権利保護や教育、保健医療の向上に取り組む国際NGO「セーブ・ザ・チルドレン」の活動に賛同し、寄付を通じた支援を継続しています。

また、知的障がいのある方々のスポーツ活動や社会参加を支援する「スペシャルオリンピックス日本・東京」の活動にも協力しています。

こうした取り組みを通じて、多様性を尊重し、誰もが自分らしく暮らし、活躍できるインクルーシブな社会の実現に貢献しています。

人権の尊重

人権の尊重
https://www.aska-pharma-hd.co.jp/csr/social/human_rights.html

■ 基本的な考え方

当社グループは、持続可能な社会の実現に貢献するために、自らの事業活動において影響を受けるすべての人々の人権を尊重することを責務として認識しています。その責務を果たすために、2011年6月に国連人権理事会で採択された「ビジネスと人権に関する指導原則」に基づき、人権尊重に取り組みます。当社グループは、すべてのステークホルダーに対する責任を果たすため、右記の国際行動規範を支持し、尊重します。また、英国現代奴隷法および豪州現代奴隷法を遵守し、適切に対応しています。

- 国際人権章典（国連総会で採択された世界人権宣言と国際人権規約（社会権規約・自由権規約）の通称）
- 労働における基本的原則および権利に関するILO宣言（ILO基本条約（中核的労働基準））
- 賃金や労働時間など労働者の人権に関する諸条約
- OECD多国籍企業の行動指針
- 先住民族の権利に関する国際連合宣言
- 国連グローバル・コンパクト10原則
- 人間を対象とする医学研究の倫理的原則（ヘルシンキ宣言）
- 子どもの権利とビジネス原則

イントロダクション
価値創造ストーリー
戦略解説
28 投資家の皆さまから寄せられる質問
29 専務取締役メッセージ
33 中期経営計画2025の振り返り
35 会長メッセージ
36 中期経営計画2028概要
38 事業概況
38 国内医療用医薬品
41 創薬
43 グローバル
45 アニマルヘルス
47 検査・アラウンドピル
49 財務資本戦略
53 製造資本・知的資本戦略
57 自然資本戦略
61 社会関係資本戦略
65 人的資本戦略
71 従業員座談会
価値創造の基盤
コーポレートデータ

■ 人権デューデリジェンス

当社グループは、事業活動により影響を受けるすべての人々の人権を尊重する責任を自覚し、人権デューデリジェンスを行っています。人権方針に基づき、役員・従業員への教育を通じて意識浸透を図るとともに、サプライチェーンにおける契約条項や定期的な確認・対話を通じ、強制労働などのリスク排除に努めています。また、社内外の通報制度を整備し、問題の早期発見・是正を可能としています。これらにより、国内外の人権関連法令や国際指針に則した企業活動を推進し、差別のない社会の実現に貢献します。

■ 2025年度の取り組み

2025年度は、全従業員を対象に人権尊重やコンプライアンス意識の向上を目的とした研修を実施しました。職場における差別やハラスメント防止を中心に、従業員一人ひとりが尊厳を守りながら能力を発揮できる職場づくりを学び、意識向上と人権文化の浸透を図っています。

人権・コンプライアンス研修実施回数

2023年度	2024年度	2025年度
9回	11回	6回

サプライチェーン・マネジメント

サプライチェーン
https://www.aska-pharma-hd.co.jp/csr/social/supply_chain.html

■ 基本的な考え方

当社グループは、事業活動全般において公正かつ透明な取引を徹底するとともに、パートナー企業との信頼関係を基盤として、持続可能なサプライチェーンの構築を推進しています。取引先の選定・評価においては、製品・サービスの品質および安定供給に加え、法令遵守、環境配慮、人権尊重、アニマルウェルフェアなど、多面的な観点から公正に評価しています。また、ESG委員会を中心に、推進責任者会議や現場における改善活動を通じて、サプライチェーン・リスクの管理および是正措置に取り組んでいます。さらに、原材料在庫の適正管理や複数サプライヤーの活用によるリスク分散を進めることで、生産体制の強化と安定供給体制の維持・向上に努めています。



あすか製薬株式会社
執行役員
生産本部長
中島 俊隆

■ サステナブル調達ガイドライン

当社グループは、多くのビジネスパートナーに支えられて事業を展開しており、品質向上と安定供給の実現に向けて、信頼関係の強化と相互の持続的な発展を目指しています。2021年度には国連グローバル・コンパクトに署名し、「人権」「労働」「環境」「腐敗防止」の10原則を支持しています。「先端の創薬を通じて 人々の健康と明日の社会に貢献する」という経営理念のもと、これらの原則を事業活動に組み込み、サステナブル調達を推進しています。

また、具体的な行動指針として「公平公正な取引」「法令・社会規範の遵守」「相互理解と信頼関係の構築」「環境への配慮」「人権尊重」「アニマルウェルフェア」を柱とするサステナブル調達ガイドラインを策定し、実践しています。

サステナブル調達ガイドライン

1. 公平公正な取引
2. 法令、社会規範の遵守
3. 相互理解と信頼関係構築
4. 環境への配慮
5. 人権尊重
6. アニマルウェルフェア

■ サプライヤー選定基準

当社グループでは、持続可能な社会の実現に貢献するため、取引先であるパートナー企業との健全かつ公正な取引関係の構築を重視しています。こうした関係のもとで、製品やサービスの品質、安定供給、法令遵守、環境・社会への配慮など、さまざまな側面から信頼性の高いサプライチェーン体制を構築・維持しています。その一環として、当社グループではサプライヤーの選定および評価を継続的に実施しています。

- サプライヤー評価システムや独自のチェックリストを活用し、調達先の適格性・信頼性を多面的に評価。
- サプライヤーに関する情報は一元的に管理し、内容の充実や最新化、関係者とのスムーズな共有を可能とすることで、より質の高い調達判断を支援。
- システムを通じて、評価結果とリスク・影響度を可視化。この情報に基づいて優先度を設定し、改善が必要な領域への重点的な対応を実施。

具体的には、以下のような取り組みを行っています。さらに、書面による評価にとどまらず、実際の工場・事業所の視察や現地での面談・ヒアリングなどを通じた実態把握も行っています。こうした活動を通じて、単なるコストや効率だけでなく、倫理性や環境・社会的側面にも配慮した持続可能な調達活動をパートナー企業に対して働きかけています。

当社グループは今後も、透明性と信頼性のあるサプライチェーンの構築に努めるとともに、社会的責任を果たす調達活動を継続的に推進してまいります。

■ 環境に配慮した調達

当社グループは、経営理念に基づき、サステナブル経営の推進を重要施策に掲げ、持続可能な社会の実現を目指しています。その一環として、必要な資源の調達・購入に際しては、より環境に配慮された原材料などを優先的に調達・購入するグリーン調達に取り組んでいます。

グリーン購入の推進（導入実績）

- 紙類（コピー用紙、トイレットペーパーなど）
- 文具類（ボールペン、クリアホルダーなど）
- オフィス家具（いす、机、棚など）
- 画像機器（ディスプレイ、プロジェクターなど）
- 電子計算機（パソコン）
- オフィス機器（カラー複合機、シュレッダーなど）
- 照明（LED照明器具、電球形状のランプ）

など

イントロダクション
価値創造ストーリー
戦略解説
28 投資家の皆さまから寄せられる質問
29 専務取締役メッセージ
33 中期経営計画2025の振り返り
35 会長メッセージ
36 中期経営計画2028概要
38 事業概況
38 国内医療用医薬品
41 創薬
43 グローバル
45 アニマルヘルス
47 検査・アラウンドピル
49 財務資本戦略
53 製造資本・知的資本戦略
57 自然資本戦略
61 社会関係資本戦略
65 人的資本戦略
71 従業員座談会
価値創造の基盤
コーポレートデータ